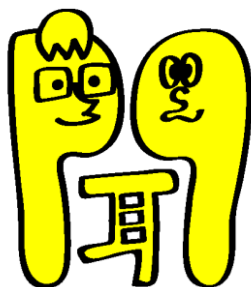


一歩

「聞く」「読む」大切な情報取得手段

学年朝会、生徒朝会でいろいろな話があります。朝の会や帰りの会、授業も同様です。「話を聞く」ことをきっかけに、話の内容に刺激を受け、将来の夢や活動が決まる人もいます。本やプリント、掲示物などで文字などを「読む」も、みなさんへの大切な情報伝達手段です。

「聞く」「読む」が、みなさんにたいへん多くの情報を与えてくれます。みなさんが活動中の話をしっかり聞くことが、活動の成功に結びついたり、



技能や体力の向上につながります。このように「聞く」「読む」ことが、みなさんの意欲を高めたり、活動の成功や充実に直結するのです。そして、そのような活動の積み重ねから、もっと大きな目標を目指したり、将来の目標に発展します。

聞かない、読まないで活動に取り組む人もいますが、活動はたいへんいい加減になり、成功もせず面白くないものになりがちです。ですから、そのような生徒は「わからない」とすぐに言い、活動に飽きて投げ出すことが多くなります。



昨日、激励会がありました。3年生選手の中に登校時にユニフォームを持ってこず、朝の会のとき、保護者に電話連絡をしている姿がありました。

高校の体験入学の受付も始まりました。私立高校の体験入学を申し込むときは、学級担任からもらった「高等学校体験入学 参加申込書(提出用)」だけでなく、高校のリーフレットの参加申込書も提出することになっています。学級担任から連絡がされていますが、話を聞いていないためか一方の用紙しか準備していない生徒もいます。一部の生徒は「聞いてないよ」と言い訳をしますが、その言葉の通りその生徒が連絡を「聞いてない」のです。



わすれもの注意!



朝の会で電話連絡をしている生徒の忘れ物をした事情は理解できますが、電話をするなどの対応は朝の会など学級のみなが話を聞く時間に行わないでください。

朝の会では、その日が締切の体験入学の申込用紙の提出や確認があったり、その朝にしなければいけない大切な連絡もあります。あなたが部活動のユニフォームの電話を家にする間、学級全員があなたを待ったり、あなたにだけ学級担任が後でお知らせするようなことはしません。そのようなこと(手間)がひとつ、またひとつと増えていくことで、その窓口になる学級担任の負担が増え、間違いが増える原因になるからです。

締切を守らないために、やらなくてよいはずの作業が増え、迷惑をうけるのは学級担任ばかりではありません。先日もお知らせした通り、高校の体験入学は1校や2校ではありません。高校からの連絡は随時来ますし、一気に連絡が入ることもあります。高校によって締切日もまちまちです。

あなたが話を聞いていないことが原因で、提出物を忘れてたり、複数の提出物を出さなければいけないところそろっていないために再提出を求められ、締切に間に合わない場合は、「自分の責任」と受け止めてください。ぎりぎりに提出すればいいと思っていた結果、書類がそろわず申し込めないこともあります。「早めに提出をして、不備があっても対応できるようにする」など時間と心の余裕を持って行動する必要があります。

周りに甘え、「あ～して!」「こうして!」と自分の要望だけ求める「甘えんぼさん」体質は、今のうちに卒業しなければいけません。



このように、「わかったつもりで聞かない」のも後でまた説明してくれると勘違いしている甘えんぼさんの一種です。

激励会

昨日の放課後、市内大会に向けての激励会が行われました。



運動部に所属する市内大会の選手が、部活動ごとに体育館に入場し、激励会が始まりました。



部長から、各部の大会会場や対戦相手の情報、選手の紹介と意気込みなどを紹介してくれました。

選手宣誓も、学校全体の士気が高まるような素敵なものでした。

そして、今年は3学年委員会が大会に参加する選手に向けて、「激励メッセージ」を作成し、手渡されました。



激励会には、30名以上の保護者や地域の方からお越しいただきました。きっと生徒の力になると思います。ありがとうございました。

